

平成15年度 第6回（平成15年11月11日）図書館運営協議会会議要旨

1. 出席者

運営協議会委員（7名）

小杉山会長・三輪委員・加藤委員・奥津委員・埜崎委員・日高委員・山本委員
（欠席委員3名）中多副会長・矢口委員・山田委員

図書館側委員（4名）

鹿島中央図書館長・広田奉仕係長・坂井視聴覚係長・豊崎戸山図書館長

図書館事務局（3名）

佐藤管理係長・秋山管理係主査・東主任主事

2. 場所 中央図書館大会議室

3. 開会

【小杉山会長】

ただいまから第6回図書館運営協議会を開催いたします。

本日の議題として報告事項1件と協議事項1件があります。

初めに報告事項「しんじゅくの図書館2003」について事務局から説明してください。

【佐藤管理係長】

「しんじゅくの図書館2003」について説明。

【小杉山会長】

次に、協議事項、区立図書館の理念・役割についてです。

本日のテーマは、「中央図書館と地域図書館の役割」についてです。

初めに、送付資料について事務局から説明をお願いします。

【秋山管理係主査】

資料説明

- ①東京都立図書館運営方針
- ②都道府県立図書館（公立図書館の任務と目標）
- ③国立国会図書館の利用者サービスの新展開について

【小杉山会長】

事前に配布された資料は皆さんお読みになってきていると思います。本日の主要な議題は「中央図書館と地域図書館の役割」ですが、事前に配布された資料について、ご意見等ありますか。

【鹿島委員】

資料説明について補足いたします。

地方都市では、大規模な図書館が一つしかない所も多いのですが、都心部では中央館及び地区館から成り立つ構成であり、全体として図書館ネットワークをつくりサービスを提供するようになっています。

中央館と同規模の蔵書数を地区館でも保有するのは実際には不可能ですが、新宿区でも図書を他の図書館、他の区立図書館、都立図書館から取り寄せていることによってサービスの水準を保っています。

中央館と地区館がどういった役割を果たしていくべきか、意見交換していただければ、と思います。

【小杉山会長】

財政的にも大変厳しい状況にあり、図書館の拡張が困難になっています。今までの新宿区の図書館運営の方針について何かご意見があれば出してください。

中央館と地区館のあり方、連携についてはどうですか。

【三輪委員】

資料の中に、区立図書館の学校図書館への援助とありますが、具体的にはどういうことですか。

杉並区の小学校に自分の子どもが通っていますが、杉並区では図書館の本をクラスで読めるようにしています。

【秋山管理係主査】

都立図書館による学校図書館への援助については、都立図書館運営方針に規定されています。

【三輪委員】

区立図書館についてどうですか。

【広田委員】

調べ学習、総合学習での資料提供も行っていますし、また、中学校の生徒が職業体験として図書館の仕事を学ぶ体験学習も行っています。

小学校の教室へ行き、読み聞かせをするブックトークを行ったことがあります。

【三輪委員】

地域の図書館の役割は地域に根ざしたものでもありますし、子どもの読書活動を考えれば学校との繋がりも大事ではないでしょうか。

【広田委員】

子どもの読書活動については保健センター、児童館とも協力しています。母親のサークルでの読み聞かせも行っています。

【埜崎委員】

前回伺いました西落合図書館は、こじんまりとしていて環境もいいところです。

館長さんから「利用しやすく、また行きたい図書館、子どもが行きやすい図書館」がモットーだと伺いました。各地域の図書館が特色を活かして、それぞれのモットーがあるようですが、とてもいいことだと思います。地域の人々の利用を多くしていくことが地区館の発展につながると思います。

【奥津委員】

資料には角筈と戸山については、特色が出ていますが、他の図書館の特色はどうなっていますか。

【広田委員】

地区館の特色についてお話しします。

西落合図書館は児童図書館として発足予定でありましたが、地域住民の要望を受入れて一般図書館となりました。大久保図書館・北新宿図書館はアジア系外国人の利用者が多いのでアジア系の書籍を多く用意しています。四谷図書館は欧米系外人が多く利用するので洋書を揃えています。中町図書館は施設の構造上資料が多く入らないので文庫を多くするようにしています。鶴巻図書館も狭くて資料が増やせないのが実情です。

昨年度から資料購入費が少ないので、選書担当者を各図書館から集めて一般書は木曜日、児童書は金曜日に選書会議を開いています。

新宿区で一冊は所蔵したいと思う本は、どこかの館で所蔵するようにして、できるだけ本の種類を増やすようにしています。

【小杉山会長】

新宿区の特徴をどう考えるか、という事が大切だと思います。

また、区の中でも各地域の特色はそれぞれです。地域の特徴を生かしながら統一性をとることが大事です。

【奥津委員】

新宿区の図書館利用者は利用登録者カードをつくってる人だけをさすのですか。

本を借りずに学習室を利用するだけの人もいますが。

【広田委員】

現在、入館者はカウントしていません。四谷図書館では盗難防止装置があるため自動的にカウント出来ますが。新宿区立図書館で自動的にカウントできるのは四谷図書館だけです。

【鹿島委員】

勉強のためにだけ図書館を利用する人は、本来の利用のあり方からいかななものかと考えます。勉強部屋代わりに使うのは問題がありますが、一概に利用をお断りするの難しいのが現状です。図書館開設当時はそういうニーズもありました。

【佐藤管理係長】

先程話がありましたように入館者はカウントしておりませんので、統計資料には入館者数は入っていません。

【三輪委員】

30年前の自分の受験勉強では中野区の中央図書館を利用しました。自宅で勉強するよりはかどりました。競争相手もいて張り合いもあります。本来の図書館の利用方法ではなく、蔵書数を増やせない問題にもなるでしょうが受験生のニーズはあると思います。

【小杉山会長】

学習室のあり方は大切な問題だと思います。今後の課題です。

【加藤委員】

図書館の近隣は登録率も高いようですが意外とそうでない地域もあります。図書館から800m圏内でも図書館に行く人は行くし、行かない人は行かないのではないですか。

【佐藤管理係長】

登録率は率であって登録人数ではありません。地区によって人口の差が激しいので、表だけでは全てを網羅できませんので、全体の傾向を読み取ってもらえば、と思います。

【加藤委員】

検索システムができた当時と比べて、見やすくなりました。時間も短縮され、利用者にとって便利になりました。

地区館からでも、都立図書館の資料が借りられるのでありがたいです。

【広田委員】

ホームページのアクセス数が200万件を超えています。

来年度インターネットによる予約が始まると、これが倍になるのではないかと思います。出来るだけ多くの人に借りてもらうため、貸出期間の短縮も検討したいとは考えています。

【佐藤管理係長】

ベストセラーについては、集中的に貸出し件数が多くなります。

【埜崎委員】

私もベストセラーは図書館で借りるようにしています。

【小杉山会長】

作家からみれば、図書館で借りる人が多いから本が売れないという問題もあります。

【山本委員】

西落合図書館をよく利用しています。

貸出や返却時に利用者に対して声を掛けてもらったりするなど、図書館職員の対応が良かったです。

【日高委員】

地区館にもベストセラー本があれば置いていただきたい。

地区館の特色として、館長のお勧め本とか各館にあれば、面白いのではないのでしょうか。

【埜崎委員】

地区館には顔見知りの利用者も多いし、職員の顔もわかる。暖かい雰囲気を持ち味だと思います。催物等でその館の特色をアピールしてほしいです。

【奥津委員】

鶴巻図書館をよく利用しています。先日も職員が本を探してくれ、ありがたいと思っています。子どもの利用は普段少ないが、先週の土曜日は児童室に12、3人の子どもが来ていて、職員も子どもに声をかけて本を探してくれました。

子どものベストセラーは昔と変わらず、本が読み継がれているのでうれしく思います。

【加藤委員】

北新宿図書館をよく利用しています。

外国人の利用者が多く、言葉の面で職員の対応が大変だと思います。そういう方面の対応も検討されてはどうか。

また、マンガの文庫本が、近年一気に増えているように思えます。新聞で読んだところ読書率が上がったというが、マンガ本も含めての話ではないでしょうか。

【広田委員】

貸出本にはマンガも含めています。

北新宿図書館は利用者、貸出数が非常に少ないです。利用者を引きつけるためにマンガを入れているのではないか。

【鹿島委員】

本とは別にマンガとしては統計に表れていません。マンガの割合がわかるような統計を検討する必要があります。

昨年からはマンガの購入は抑制するようにしています。ただ、マンガをきっかけに図書館に通ってもらうこともあると思います。

地区館についてのご意見をいただきましたが、改めて機会をとらえ、調査も必要だと考えています。

文学書が多く借りられる地区館もあれば、ビジネス書が多く借りられる図書館もあります。利用者のニーズをふまえて地区館の特性を出していくべきだと考えています。

【小杉山会長】

地区館のあり方を考える上で、もう少し地域の人に突っ込んだ話を聞く必要があるのではないかと考えます。

新宿にも地域によってそれぞれ特性が異なるでしょう。

地区館と中央館、あるいは地区館と学校図書館との連携に検討が必要かと思えます。今日だけではないので、次回にご意見を出していただいても結構です。

【鹿島委員】

保健センターでの読み聞かせ、児童館との連携についても中央館だけでなく地区館との連携が不可欠です。地域の人材を育成するような機能も地区館には必要になってくると考えます。

6月から議論しているので、次回あたりで5ヵ月間の議論を概観するような機会をもちたいと思えます。皆さんからご意見をいただいて、新年から今年度のまとめに入りたいと考えています。

【小杉山会長】

地区館の活動についてですが、読書会、研究会、読み聞かせ等はどのように行われているのですか。

【広田委員】

読み聞かせは各館毎週1回は行っています。ボランティアを活用している館もあります。人形劇も年1回は行います。映画会も随時開催しています。

【小杉山会長】

社会教育施設なので図書館でも図書のみならず幅広い活動をやってもらいたいと思えます。

【広田委員】

夏休みに子どもが書いた絵を北新宿図書館で展示したこともあります。

【小杉山会長】

先程館長から話もあったように、今年度のまとめとして意見を伺う機会も次回以降もちますので、本日はこれで閉会します。